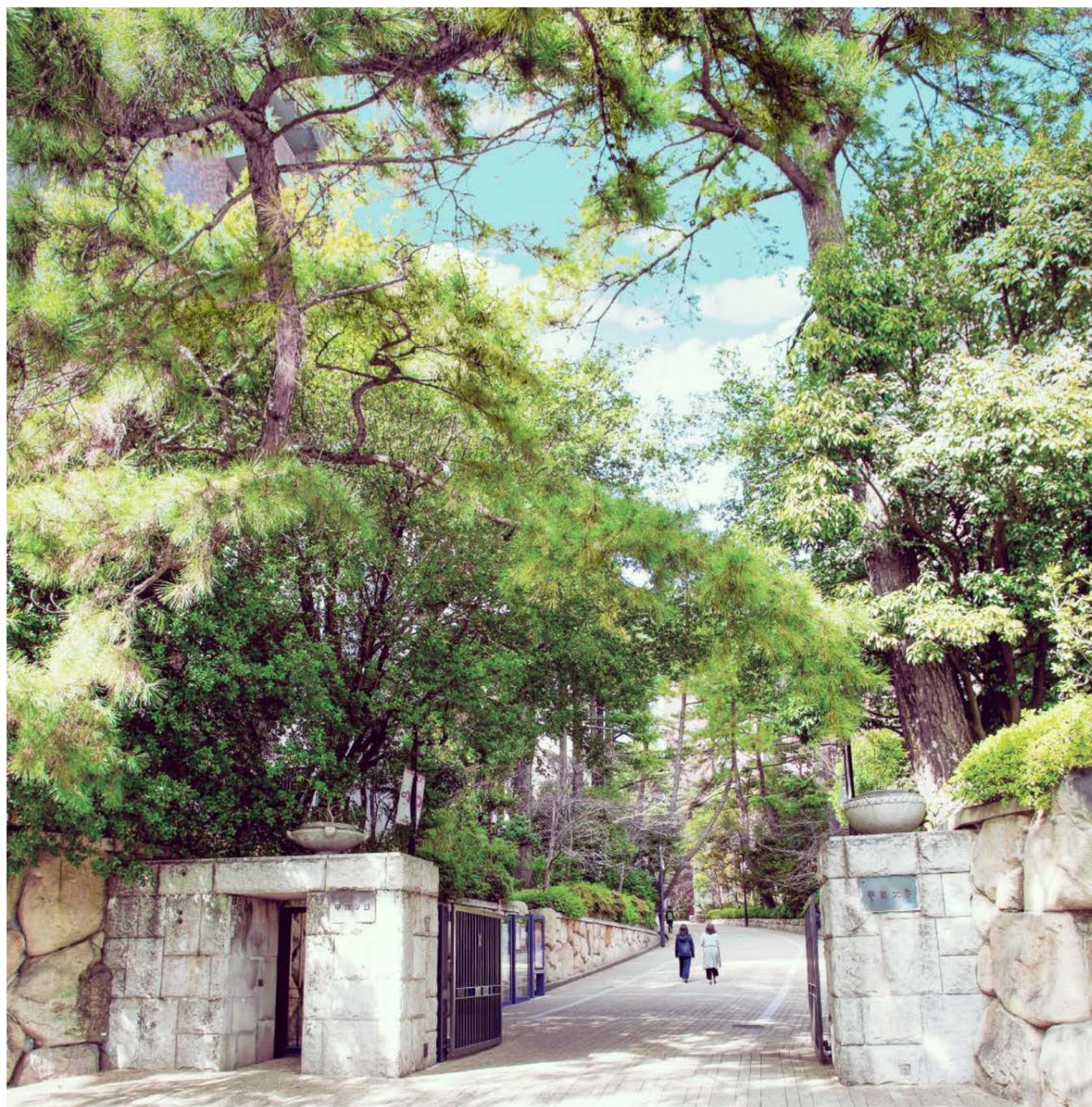


KONAN TODAY

2017 | No. 51
SPRING



●特集
甲南学園創立100周年記念事業
甲南新世紀に向けた新しい教育施設が誕生

●なるほど!甲南アカデミア
法学部 法学科 教授
笹倉 香奈

●It's KONAN Style
明石に保護猫カフェをオープン
中川 加奈子さん

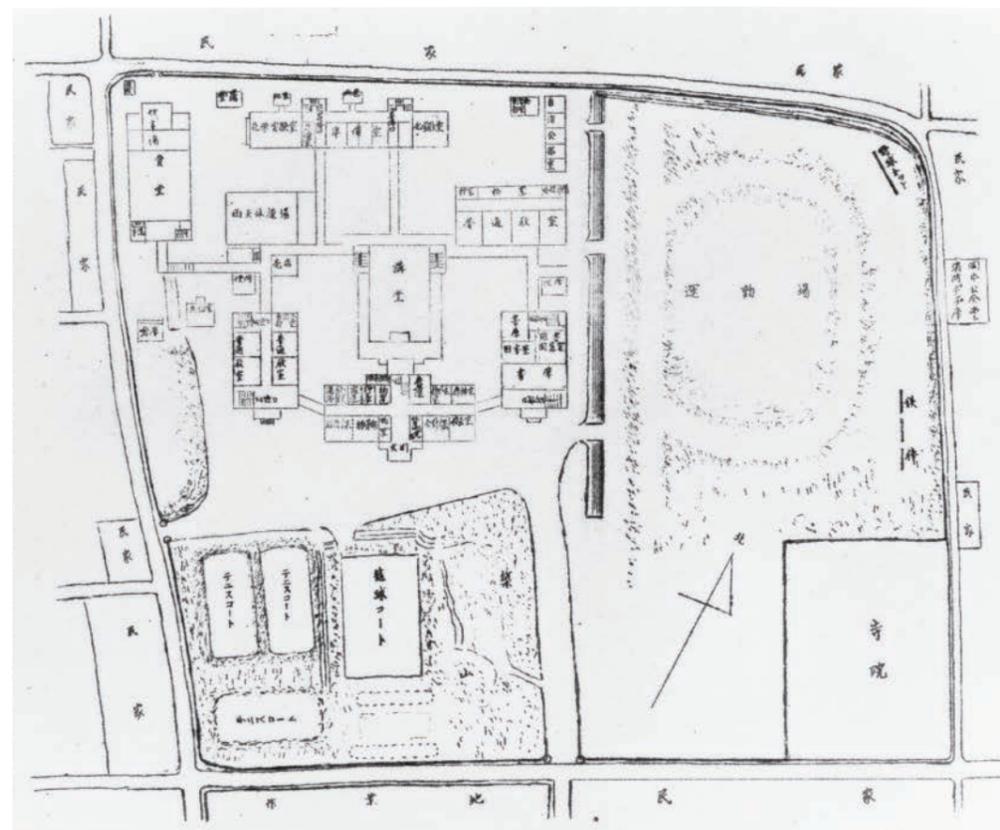
KONAN TODAY No.51

2017年3月27日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL.078-431-4341(代) <http://www.konan-u.ac.jp>



甲南学園の100年

Precious time behind us ~ 豊潤な時を讃えて ~



旧制甲南高等学校施設配置図。昭和11(1936)年ごろ。



正門前での一枚。
(第18回文科 卒業アルバムより)



昭和11(1936)年の校地拡張により、現在地に移動した正門。
写真は昭和17(1942)年ごろ。

『旧制甲南高等学校正門』

大正10(1921)年に
高等学校としては日本初
のコンクリート構造で新
築された校舎。そのモダン
な姿は「白亜城」とも称さ
れ、多くの人々から愛され
た。当時の正門は、現在よ
りも北側奥に位置してい
たが、昭和11(1936)年
の校地拡張にともない移
動して今日に至る。

その後、平成7(1995)
年の阪神・淡路大震災によ
り、多くの学び舎が建て替
えを余儀なくされた。しか
し、入り口から続く緩やか
な坂道や正門の佇まいは、
世代を超えて当時と変わ
らず、学生たちを懐深く迎
え入れ、送り出している。

(参考/「甲南学園の80年」)



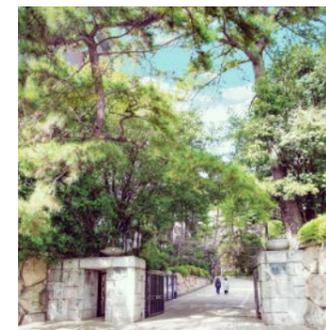
Road to 100th

甲南学園創立100周年記念事業
甲南
新世紀に向けた
新しい教育施設が誕生

(2016年12月22日撮影)

2019年に創立100周年を迎える甲南学園では、Respectable KONAN of the World(「世界で通用する甲南」)を掲げ、さまざまな記念事業が進行しています。なかでも今回は、「KONAN INFINITY COMMONS 建設」甲南大学白川台キャンパスセミナー・スポーツ施設拡充「甲南高等学校・中学校 教育環境整備」の3プロジェクトをピックアップ。

「KONAN INFINITY COMMONS」は、岡本キャンパスの福利厚生ゾーンを再開発し、人物教育のクオリティ・リーダーをめざす甲南新世紀ビジョンを実現するための新校舎。2017年9月中旬の竣工に向けて工事が進んでいます。「甲南大学白川台キャンパスセミナー・スポーツ施設」はすでに活用されています。2期工事も終了し活用の範囲が拡大、3期工事がまもなく始まります。また「甲南高等学校・中学校 教育環境整備」は体育教育施設が竣工し、今後さらなる教育環境の整備を計画中です。次の100年、甲南新世紀にふさわしい教育を体現するこれら3つのプロジェクトの今を紹介します。



表紙の1枚
岡本キャンパス 正門

CONTENTS

- 02 特集
甲南学園創立100周年記念事業
甲南新世紀に向けた新しい教育施設が誕生
- 09 進化する岡本キャンパスの施設を紹介
- 11 なるほど!甲南アカデミア 法学部 法学科 教授 笹倉 香奈
無実の人を苦しめる「えん罪」を無くすために日本版イノセンス・プロジェクトを始動
- 15 さまざまな分野の第一線で活躍する卒業生
It's KONAN Style 中川 加奈子 さん
気負わない姿勢で夢をカタチに猫と人が自然体で出会う保護猫カフェ、オープン
- 17 高中 Topics
各界の第一線で活躍される著名人より「いかに生きるか」を学ぶソフィア講演会
22年ぶり 兵庫県トップに[弓道部] たった1本の悔しさをバネに奮起し、インターハイ進出の栄冠を獲得!
- 19 KONAN TOPICS
甲南学園から「旬」のニュースをお届けします
- 21 甲南学園創立100周年カウントダウン連載
活動の輪を広げる同窓生たちⅣ 甲友の「絆」を訪ねて
甲南健児の意気をみよ「旧制甲南高等学校生銅像」を建立
- 23 高浜虚子と長谷川素逝
「添削綴」でつながる師弟愛
- 25 平生鈺三郎日記刊行記念シリーズ
平生鈺三郎と訪伯経済使節団
- 27 岡本ぶらり
第1回 岡本にある「ひつじ」のナゾ?!
- 28 新任・退任教職員紹介
- 29 KONAN FORUM
課外活動成果報告/新刊一覧 ほか

裏表紙 **甲南学園の100年**



Agora(アゴラ)ステップ

1階エントランスから2階の吹き抜け空間に設ける多目的オープンコミュニケーションスペース「Agora」。この空間を象徴するのが「Agoraステップ」です。自由に腰掛けられるゆったり座席・大階段で、観客席の役割も兼ねています。ここで開催するイベントやプレゼンテーションに学生が参加し、ことばを交わす中で、融合が生まれるでしょう。



甲南の人物教育を活性化する

iCommons Project

● ○ 相互啓発・融合・創発を引き出す キャンパスの結節点

岡本キャンパスにあった学生会館や学友会館など6つの建物は築50年前後が経過し、耐震性や老朽化などの課題を抱えていました。そこで学園創立100周年記念事業の一環として、新たな機能を付加しての建て替えが決まりました。校舎名は「KONAN IN

FINITIVITY COMMONS」、愛称は「iCommons(アイコモンズ)」です。2014年秋に計画に着手、2016年1月から工事が本格的にスタートしました。

甲南大学は、人文科学・自然科学・社会科学の学問分野を備えた「メディアムサイズの総合大学」という特長を「学部を超えて集う人たちが自然に交じり合い融合するキャンパス」によって一層際立たせることに力を注いでおり、本プロジェクトにおいても「融合」の教育をコンセプトの核に掲げています。文系・理工系の枠を超えて学生や教職員が融合し、各クラブが相互に触発されて創造力を生み出す。そんな人と人をつなぐ「キャンパスの結節点」をめざしています。

コンセプトを具現化するために「オープン」と「シェア」を設計のコンセプトに決めました。「オープン」を最も象徴するのが1階から2階の吹き抜け空間に設ける「Agora(アゴラ)」です。「市場」の名のとおり、にぎわいのある多目的オープンスペースで、キャンパスで日々行われているさまざまな活動が自然に目に留まるスペースになります。そのほかのスペースもできるだけガラス張りオープンにし、活動の「見える化」を図っています。

もう一つのコンセプト「シェア」は、各スペースに柔軟性をもたせ、多目的に使い回せる工夫を取り入れて具現化します。「シェア」を最もよく表現しているのが1300席を誇る「Hiraohall(学生食堂)」です。昼食時だけでなく、朝から夕方までコミュニケーションの活性化ができる場をめざしています。「食」を通じたコミュニケーションを重視する海

外の大学や企業の事例に学びながら、ミーティングができる予約制のブース席や雰囲気異なる座敷スペースなども設置。時間帯を問わずつながりを深めるためのコミュニケーションを促します。

快適に施設を利用できるようにアクセスにも配慮しています。道路で隔てられたキャンパス東エリアとの間に上空通路を設けることで、2号館3階からダイレクトにアクセスが可能に。西・北校地からも直接iCommonsに入ることができます。

● ○ 学生や教職員の声を広く集めて 着実にプロジェクトを推進中

iCommonsの設計コンセプトづくりは施設・設備を担当する管財部を中心にプロジェクトチームで行ってきました。が、施設の活用・運用方法を検討する過程では、学生、教職員の声を幅広く集めています。その取り組みの一つが、学生にコンセプトの共通理解を図り、施設の活用方法を共に考える「iSessions」です。昨年7月に白川台キャンパスで約100名の学生と合宿を行い、コミュニケーションを始めました。以来、意見交換と調整を続けており、オープン時には多くの学生がiCommonsのコンセプトをよく理解し、積極的な利用ができることを目標としています。

教員も長坂学長のもと、活用法に関するアイデア出しのタスクフォースを設けています。これまでにないオープンな複合施設であることから、ゼミ発表のほか、高大連携や研究発表など多様な意見が集

まっています。職員も若手を中心にタスクフォースを作り、これまでの学生サービスのあり方を根本的に変えるようなアイデアを膨らませています。

甲南大学はクラブ活動も盛んです。クラブ活動も人物教育を高めるための重要なアクティビティであることから、日頃からクラブ活動の成果を展示するショーケースや気軽に発表ができるようなスペースを設置予定です。ほかのクラブ活動に刺激を受けたり、クラブに所属していない学生とも融合が期待できます。本プロジェクトを推進する狭間宏明管財部長は言います。「学生が融合し、所属するクラブなどの枠組みを超えて刺激を受けたり、知恵を出し合ったりすることにより、社会で求められるチームでの課題解決力養成につながります。元来、甲南の学生は人とつながる能力に長けているのでiCommonsでそれを促したいと思います。」

再開発エリアには、岡本キャンパスのシンボルである「一本松」がありますが、この松をはじめ周辺の樹木はできる限り残す方向で工事を進めています。9月中旬の竣工時には、装い新たな石階段と一本松が姿を見せる予定です。

岡本キャンパスの新たなシンボルとなるiCommons。キャンパスライフの多様な機能がバランス良く融合した空間で、メディアムサイズの総合大学ならではの豊かなコミュニケーションが生まれるでしょう。甲南の人物教育の実践にふさわしい場となることは間違いありません。



iCommonsのコンセプトを学生・教職員が各々の立場で考え、できるだけ多くの構成員が「こういう使い方ができるんだ」と理解したうえで、9月中旬の竣工を迎えたいと考えています。また、プロジェクトのコンセプトを実現するため、竣工後も柔軟に施設のよりよい活用方法を探っていきます。

甲南学園 管財部
はざま ひろあき
部長 狭間 宏明



iSessions

文化系クラブの学生を中心に白川台キャンパスで合宿。iCommonsの活用についての意見交換会「iSessions」を行いました。



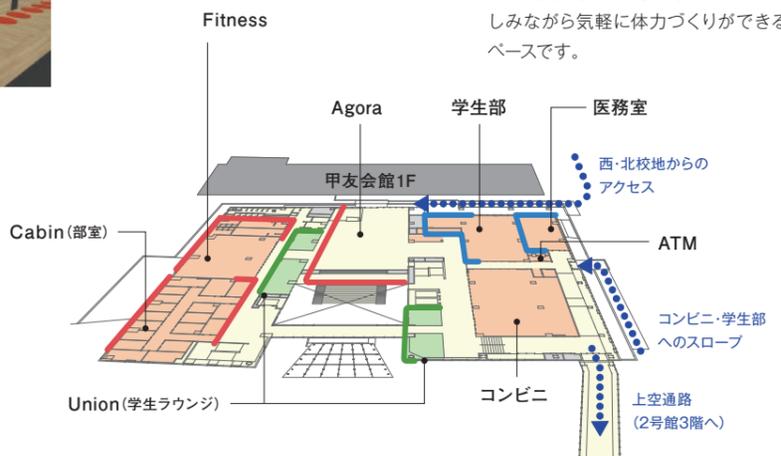
多目的オープンスペース Agora アゴラ

天候を気にせず、多くの人が集まることのできる岡本キャンパス初のオープンな空間。大型ディスプレイに投影しながらプレゼンテーションができ、行き交う学生の目にも自然に入ります。文化系クラブの発表、体育会クラブの試合のパブリックビューイング、ゼミ発表や講演会などの教育研究活動、留学・就活の体験発表などにも利用できます。



新しいコミュニケーションを生み出す Hiraio Hall(学生食堂)

複数のゾーンに分かれた食堂は、終日利用できるコミュニケーションの場。ゆるやかな仕切りによるブース席はランチミーティングなどが可能です。町屋風の引き戸を開けて入る座敷席も。



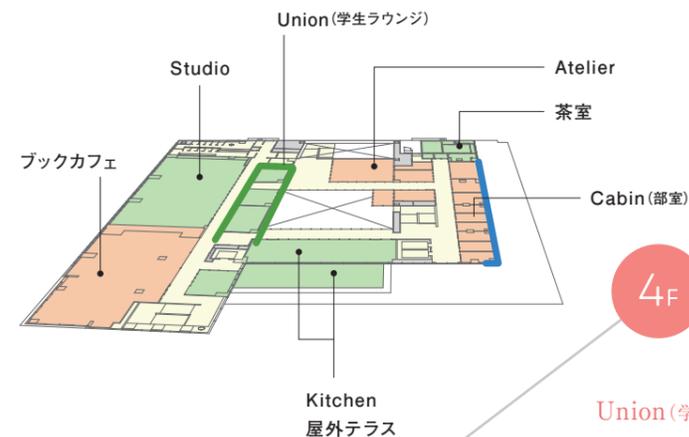
2F

Studio

卓球やストレッチ、ヨガといった保健体育の授業で使用のほか、演劇やダンスの練習、小規模なイベントも開催できます。

Cabin(部室)

クラブ部室は、なるべく活動内容がオープンになるよう一部に展示用のショーケースを備えるなど、工夫されたスペースに。部室の家具を学生が自分たちで考え、製作する活動の実施も検討中です。



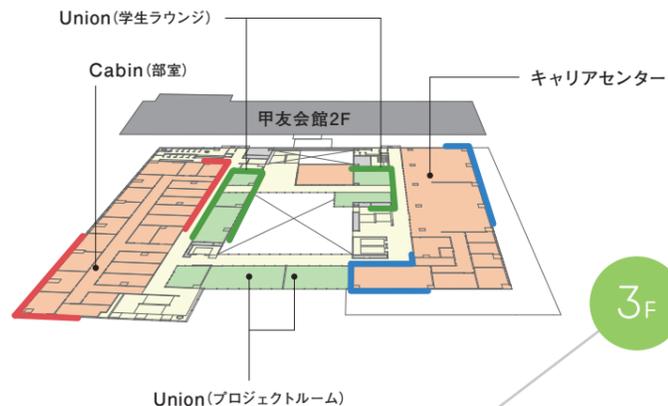
4F

Union(学生ラウンジ)

これまで部室の中で行われることの多かったクラブ活動、ゼミやサークルの打ち合わせ、気の置けない友人とのリラックスした会話など、日頃は多様な人がゆるやかにつながる場。ときには就職活動中の学生のための企業セミナーや研究発表などが行われ、さまざまな催しから刺激を受ける場になります。また、大学祭のときは展示会場に大きく変化します。

Union(プロジェクトルーム)

学生のアイデアを形にする集中作業や成果発表の場。少人数の授業に使えるほか、就職セミナーなどキャリア教育の場としても活用できます。



3F

ブックカフェ

「カルチャー」を通じて学生の成長を促すイベントを企画し、文化や教養に関する本・雑誌を提供します。なお、従来の書籍部(学友会館北館)は今までどおり教育研究に必要な本を提供します。

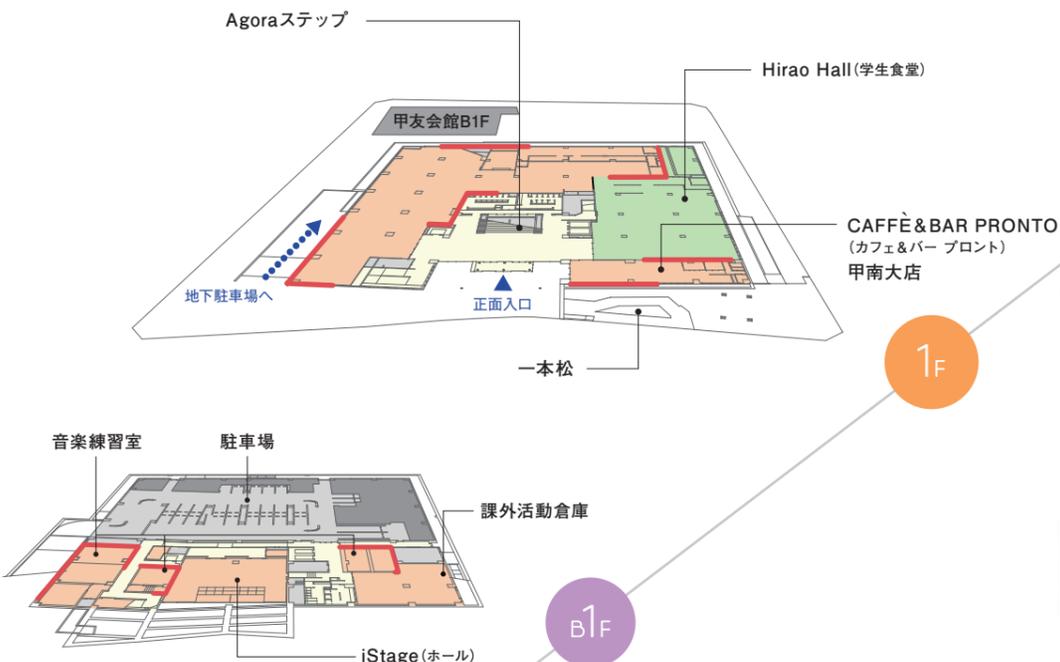


人がつながる、人をつなぐ

iCommons フロアレイアウト

「iCommons」は人と人をつなぐ多彩なスペースを備えています。「Agora」をはじめ、クラブ活動や自習に利用できる「Union(学生ラウンジ)」では、学生間の新しいコラボレーションが生まれるでしょう。「Union(プロジェクトルーム)」や「Hiraio Hall(学生食堂)」では教室以外での学生、学生と教職員などの接点が増え、「学生部」と「キャリアセンター」を設けることでこれらの結びつきがより深まります。「Union」は企業説明会を開いたり、教育研究やクラブ活動の成果を対外的に見ていただくなど、社会とつながる場としても活用できます。

Hiraio Hall(学生食堂) 完成イメージ



1F

CAFFÈ&BAR PRONTO (カフェ&バー プロント) 甲南大店

グループ用個室ではランチミーティング、お店を貸し切ったゼミやクラブのパーティー・懇親会会場として利用できます。



非日常の環境で交流を深め、 地域ともつながる新キャンパスを開設

「甲南大学 白川台キャンパス」

● 講義室や宿泊施設を完備し、ゼミ合宿でにぎわうセミナーハウス

2016年4月、神戸市須磨区東白川台に「甲南大学 白川台キャンパス」を開設しました。愛称は「コスモスキャンパス」。須磨区の花である「コスモス」にちなみ、学生の無限の可能性を「宇宙（Cosmos）」で表現しています。岡本キャンパスからスクールバスで約40分の距離にあり、学園創立100周年記念白川台セミナーハウス「I, II（アイル）」とグラウンド、野外活動施設で構成されています。セミナーハウスは講義室やセミナー室、体育館、108名収容の食



白川台キャンパスセミナー
「知っておきたい、役立つ情報!遺言編」
法科大学院主催

堂と140名収容の宿泊施設を備え、ゼミ合宿や宿泊を伴う多様な活動に対応が可能です。

● 昨今の大学においては、教員と学生、学生同士が交流する時間を増やすことで、教育効果を高めようとする動きがあります。甲南大学は、宿泊研修施設として広野合宿所、平生記念セミナーハウスを有していましたが、アクセスが不便、食事の提供ができない、多人数の宿泊ができないなどの課題を有していたため、100周年記念事業の一環として整備を行い、新たな交流の場を設けました。早速、コスモスキャンパスの効果が出ています。開設以来、週末ごとに複数のゼミ合宿の予約が入る人気ぶりです。ゼミ間の交流も生まれています。1年次の「共通基礎演習」で行うグループワークは、学生・教員からも好評です。日常とは異なる環境に身を置き交流を深めることにより、教育活動が活性化しています。2017年3月には2期工事も竣工し、内部が一新された体育館、バーベキュー施設に加え、キャンパス内の山林を活用した散策路やピオトープが加わりました。ピオトープでは生態系の観察



公開講演会、田中修特別客員教授・名誉教授による「～新春に魅せる植物たち～」
地域連携センター主催

● を通じた環境教育が実施されます。

● 公開講座などの開催で地域貢献・ 地域連携の場としても活用

コスモスキャンパスは甲南大学の教育・研究を深化させる場であると同時に、地域貢献や地域連携の拠点でもあります。キャンパスのある東白川台は住民の方が、「共助・共存・共栄」を基本方針に掲げ活発な自治会活動を行っておられ、こうした地域の方々も甲南大学との連携を強化する取り組みも行っています。その一つが甲南大学法科大学院主催のイベントです。「振り込め詐欺」身近な相続問題」など地域のニーズに合ったテーマを設け、コスモスキャンパスで定期的に講座を行っています。また地域連携センター主催の公開講演会にも幅広い世代の方にご参加いただき、好評を博しています。今後もこうした活動を継続し、地域のみなさんとの共存・共栄を進めていきます。

健やかな身体と豊かな人間性を養う スポーツ屋内練習場が完成

「甲南高等学校・中学校」

● 徳・体・知のバランスのとれた人物の育成を実践する場に

2016年10月、甲南高等学校・中学校の体育館跡地にスポーツ屋内練習場が完成しました。雨天時にも利用できる多目的な半屋内運動施設です。「学園創立90〜100周年記念甲友会館 Le Casque（ル・カスク）」「学園創立90周年記念徳体知アリーナ Eアリーナ」の竣工に続き、スポーツ環境のさらなる充実をめぐりまして工事が行われてきたものです。

● 学園創立者 平生夙三郎は、徳・体・知のバランスのとれた「世界に通用する紳士」の育成をめざすうえで、勉学と同様にスポーツの重要性も説かれました。学生のスポーツは単に体育のみならず、常に精神教育を主眼とし、学生は学生らしきスポーツに終始しなければならない」と述べております。自律心やチームでの課題解決力が社会で求められる今、スポーツを通して心身を鍛え、豊かな人間性を磨く教育の重要性が増しており、その実践にふさわしい場といえます。

● さわやかな風が吹き抜ける多目的スポーツ屋内練習場

● スポーツ屋内練習場は、ゴルフ練習場（8打席）と多目的に使える野球練習場で構成されています。甲南高等学校・中学校の美しい景観を守るために建物の高さを10メートル以下に抑えながら、2階に最大限の活動エリアと天井高を確保。木々を通して六甲山のさわやかな風が吹き抜け、生徒が体力づくりや競技力の向上に集中できる理想的な環境です。正課の体育の授業のほかに、クラブ活動にも利用されています。

● このほか甲南高等学校・中学校では、グローバル教育、サイエンス教育、ICT教育などの教育環境整備計画も進行中です。より良い学びの場を整え、国際社会のさまざまな分野で活躍できる人材の育成に力を注いでいきます。



A. 学園創立
90〜100周年記念甲友会館
Le Casque（ル・カスク） 外観



D. スポーツ屋内練習場内
野球練習場（多目的練習場）



B. スポーツ屋内練習場 外観



C. 学園創立
90〜100周年記念甲友会館
Le Casque（ル・カスク）
オープンテラス



E. スポーツ屋内練習場内
ゴルフ練習場

C	A
D	B
E	

白川台セミナーハウス I' II（アイル）

まずは試験的に、学園主催のイベント・正課授業を優先しております。卒業生、地域一般の方向けの利用方法につきましては、確定次第お知らせさせていただきます。

施設概要

- [1階] 体育館・ロッカー室・シャワー室・食堂・管理室
- [2階] 大講義室・セミナー室・ラウンジ・教員宿泊室
- [3階] 宿泊室・大浴室・小浴室・洗面洗濯室

※館内無線LAN・自動販売機・給茶機



北校舎 7号館1階

I サイエンス・ラーニングコモンズ

演示実験や研究発表など、理工系アクティブラーニングを強力にサポート。



(2016年9月オープン)

本校舎 図書館

E 図書館カフェ

オリジナルコーヒー「KOCO cafe No.836」を片手に、ゆったりと思考を巡らせる空間。



(2015年3月オープン)

本校舎 12号館1階

F 地域連携センター

地域社会と大学をつなぐ拠点。連携プロジェクトやボランティア情報が集まっています。



(2016年4月リニューアルオープン)

本校舎 2号館1階

D グローバルゾーン porte(ポルト)

留学生と学生が集うグローバルコミュニケーションスペース。すべての学生が自由に、楽しみながら外国語力や国際感覚を磨くことができます。



(2015年9月オープン)

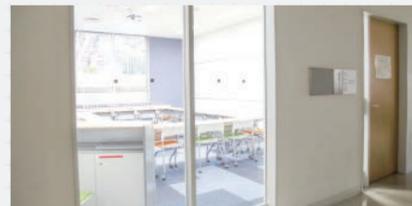
本校舎 5号館

C アクティブラーニングに対応したゼミ室とサイバーライブラリ

プレゼンテーションやディスカッションなど、用途に合わせてレイアウトが自由自在に。



サイバーライブラリ



壁の一部がガラス張りのゼミ室



ゼミ室

本校舎 1号館3階

B ラウンジ

明るく開放感にあふれるフリースペース。学生のグループワークに使用されています。



本校舎

G H デジタルサイネージ

正門付近とキャンパス中央3号館前で、授業や課外講座などの情報をタイムリーに提供。



進化する岡本キャンパスの
施設を紹介

2017年9月中旬の「KONAN INFINITY COMMONS」竣工に向けて、工事を進めています。学生により良い環境を提供するために、施設・設備の拡充を行ってまいりました。少しずつですが、着実に進化しているキャンパス内部をご紹介します。

本校舎 仮設食堂

A 食堂・コンビニエンスストア

2017年秋までの仮設スペース。名物の天津飯を提供する食堂とファミリーマートが便利。



(2016年1月～)

無実の人を苦しめる 「えん罪」を無くすために 日本版イノセンス・プロジェクトを始動

無実の人が犯罪者として罪に問われる「えん罪」事件。アメリカでは、およそ25年前に始まった「イノセンス・プロジェクト」の活動などによって、340人以上がDNA鑑定でえん罪を晴らされています。

甲南大学で刑事訴訟法などを教える笹倉香奈教授は、2016年4月にその仕組みを日本にも導入する日本版イノセンス・プロジェクト「えん罪救済センター」を立ち上げ、副代表に就任しました。えん罪が起こるメカニズムとは、そしてその根絶のためには何をなすべきか、お話を伺いました。

日本版イノセンス・プロジェクトとは

法律学の研究者や弁護士の間々とも2016年4月、無実の罪に問われて苦しむ人々を無償で救済する「えん罪救済センター（日本版イノセンス・プロジェクト）」を立ち上げました。イノセンス・プロジェクトは1992年にニューヨーク州のロースクールで始まった活動です。えん罪が疑われる事件をDNA鑑定などによって再検証することで、この25年間に多くのえん罪を晴らしてきました。DNA鑑定によって救われた人々の中には20名の元死刑囚が含まれ、約4割の事件でえん罪が明らかになったあとに真犯人が判明しています。

法学部 法学科 教授

ささくら

笹倉 香奈

かな

イノセンス・プロジェクトは「アメリカの刑事司法に革命をもたらした」と評価され、同様の試みがカナダ、アルゼンチン、フランス、台湾、南アフリカなど世界中に広がっています。

私は2011年9月から1年間、アメリカのワシントン大学ロースクールに客員研究員として留学した際に、イノセンス・プロジェクトの活動に参加したことがきっかけで、「日本にもこの仕組みを導入したい」と考えるようになりました。

えん罪によって壊される人生

えん罪は人生を完膚なきまでに破壊します。最近では22年前に大阪府東住吉区で起きた火災で、小学校6年生の娘を亡くされた母親と内縁の夫によるえん罪事件が大きなニュースになりました。この事件では火災直後、警察が保険金詐取を目的に2人がわが子を殺したと見立て、高圧的かつ違法な取り調べを行いました。その結果、取調官から「否認すれば死刑になる」と脅された夫と、娘を失ったショックで心身が弱っていた母親がともに虚偽の自白をしまい、その後の裁判で無期懲役の判決が下ったのです。

2人は自白後、否認に転じましたが、最高裁まで争っても主張は認められず、刑が確定しました。獄中から2人の無実の訴えが司法に届き、再審を開くことが決まったのは2015年10月のことです。「火災の状況を科学的に分析すると自白

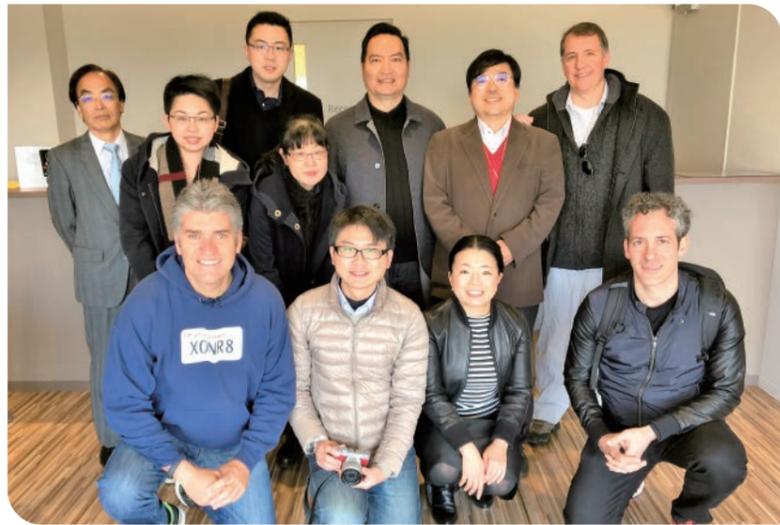
どおりの犯行は不可能である」と認められ、翌年8月に無罪判決が確定しました。しかし、司法の誤りによって深く名誉を傷つけられ、自由を奪われた20年以上の日々は取り返しがつきません。

こうしたえん罪事件が起きる背景には、「自白」などの供述を重視し過ぎる日本の捜査のあり方や刑事司法の構造的な問題があります。密室の取り調べで捜査官から連日厳しく追い詰められ続けて、やっていないことでも認めてしまう人は少なくありません。しかし、一度でも自白してしまえば、警察はその内容に沿って証拠を組み立て、あとからそれを覆すのが非常に難しくなります。目撃者の供述なども本人の勘違いや捜査官の恣意的な誘導によって、事実と大きく異なるようになってしまう場合があります。

さらに、いわゆる科学的捜査で集められた証拠が完全に間違っているケースもあります。個人特定の切り札となっているDNA鑑定も、犯罪捜査に使われ始めた90年代初めのものなどは精度が必ずしも高くありませんでした。2010年に再審で無実が証明された栃木県の「足利事件」も、初期の間違ったDNA鑑定がえん罪の原因でした。DNA鑑定以外では、放火が疑われた火災の調査も間違っていることがあり、前述した東住吉事件のように捜査官の思い込みや誤った科学知識によりえん罪が生まれることもあります。裁判官や検察官、弁護士の多くが科学的知識をもっていないことも、科学捜査の判断の誤りに拍車をかけています。



アメリカ各地や台湾の
イノセンス・プロジェクトの方々。
(笹倉教授は前列右から2番目)



袴田事件弁護団・
戸館圭之先生(前列左から2番目)と
甲南大生たち。



えん罪のメカニズムを解明する

このほかにも日本では布川事件、東電女子社員殺害事件、袴田事件など、えん罪であったことが確定しているか、えん罪の可能性が指摘されている事件がたくさんあります。そうした事件の多くは、強い使命感をもった弁護士がボランティアで取り組むことによって明るみに出ましたが、実は無実の罪によって処罰を受け続けている人たちがその何倍もいるかもしれないのです。えん罪を放置することは、その影に隠れている「真犯人」を逃すことも意味します。事件の真相を解明するためにも、えん罪の究明は不可欠なのです。

実際に私たちのところにはこの1年弱で、獄中にいる人やその家族、支援者などから「本当は無実である」といった相談が200件近く寄せられています。それらの事件について現在調査を進めています。20数名いる私たちのメンバーには、大学の法学の研究者に加えて、数々のえん罪事件にかかわってきた弁護士、科学捜査研究所の元技官、自然科学者、心理学者などがいます。そうしたメンバーがそれぞれの専門知識を生かし、裁判に提出された証拠の科学的な見直しや、供述などの洗い直しを行っています。元科学捜査研究所のメンバーは「警察が捜査の過程で、自分たちに都合の良い結論を出すようプレッシャーをかけてくることもあった」と話しており、証拠そのものを正しく検証すること

が、えん罪を減らすことに直結すると考えています。そうして一つひとつのえん罪事件を詳細に分析することで、えん罪の起こるメカニズムが明らかになっていけば、それが起こらない制度を司法に組み込むことができるはず。たとえば密室の取り調べが虚偽の自白を生む土壌になっているのであれば、すべての事件で取り調べを録音・録画し検証できるように「可視化」の制度、そして取り調べに弁護士が立ち会うことを法制化すれば対策になるでしょう。取調官の目撃者への質問のしかたをルーブル化することで、間違った目撃供述を減らす仕組みも作れるかもしれません。そうした制度改正を積み重ねていくことで、えん罪をなくすことが私たちの活動の最終的な目標です。将来はえん罪に問われた人の釈放後の生活のバックアップや、精神的なケアも行っていきたいと考えています。

学生たちも活動に参加

「えん罪救済センター」の事務局は京都市の立命館大学内にありますが、2016年7月から甲南大学の法学部でもボランティアを募集し、「甲南大学父母の会」の支援を受けて30数名の学部生が活動に参加しています。1〜3年次が中心で、そのうち半分以上は女子学生です。アメリカのイノセンス・プロジェクトも大学のロースクールで始まりましたが、学生のうちからえん罪事件にかかわることは、司法や社会のあり方

を学ぶうえでの実践的な学習になると考えています。個人に対して強制力をもつ法制度がひとたび間違つて運用されれば、人生を破壊してしまいかねない。その恐ろしさと責任の重さを、実際に起きたえん罪事件に学ぶことができるからです。

学生たちには、2016年9月にえん罪救済センターと京都弁護士会などが共催したシンポジウムの進行をサポートしてもらったほか、1979年に鹿児島で起きた「大崎事件」と呼ばれるえん罪事件の集いにも12月に参加してもらいました。参加した学生からは「現実にえん罪被害者の方の話聞いて、これは何としても手伝わなければならぬと感じました」という声が複数届いています。自分たちの活動が無実の人を救うことの手助けになっているという、強いモチベーションを得ているようです。さらに、若い学生たちがえん罪救済のための活動に参加することで、メディアがこの問題に関心を寄せてくれるきっかけにもなり、良い相乗効果が生まれているのではないかと考えています。「犯罪者は厳しく罰すべきだ」と考える人が多い日本社会の中で、報道によって「えん罪」というものがあることを知る人が増えていくことが、未来のえん罪を減らすことにつながるかと考えています。

二度とえん罪を 起こさないために

私は幼いころに広島原爆被害を描い



たマンガ「はだしのゲン」を読んで、人権を権力が踏みしめることに対して強い憤りを感じ「将来、困っている人たちを助ける仕事したい」と思いました。その後、小学5年生のときに第16代アメリカ大統領のアブラハム・リンカーンの伝記を読み、彼が弁護士時代に貧しい人々の訴訟を無料で引き受けたことを知って感銘を受け、このことが法律を学ぶきっかけになりました。大学の法学部に進学して勉強するうちに研究の道に進みたいと思うようになり、最近では先進国では日本とアメリカの一部の州で行われ

ていない死刑制度についても関心をもつようになり、そもそも犯罪の抑止力として死刑が有効なのか、えん罪で死刑になった人への責任を国家はどう取るべきなのか、といったことを研究するようにもなっていました。

「法律というのは、弱い人を守るためにある」と私は考えています。罪を犯して獄中にある人も、同じように一人ひとりを大切にすべきです。そして自分の学んだ法律の知識が、えん罪事件で苦しむ人々を救うことに少しでもつながるのであれば、と思っています。

法学部 法学科 笹倉 香奈 教授

奈良県出身。東京大学法学部卒業、一橋大学大学院法学研究科博士課程修了後、日本学術振興会特別研究員(2005~2008年)を経て甲南大学へ。大学では主に刑事訴訟法、刑事法入門などの授業を担当する。オフの日は散歩、読書などをして過ごす。好きな作家は伊坂幸太郎、浅田次郎、有吉佐和子など。

(えん罪救済センターについては、Webサイト <http://www.ipjapan.org/> などを参照)



笹倉教授の一冊。
著者は一橋大学大学院時代の師匠である
一橋大学後藤昭名教授
(現在は青山学院大学教授)。

気負わない姿勢で夢をカタチに 猫と人が自然体で出会う保護猫カフェ、オープン

空前の猫ブームといわれるなか、日本では年間約7万匹^{*1}近くの猫が殺処分されています。兵庫県だけでも、年間約2000匹^{*1}。そんな現状を少しでも変えたい…、そんな思いから一人の女性が立ち上がりました。2016年9月9日、明石に保護猫カフェ「caro(カーロ)」をオープンした文学部人間科学科の卒業生 中川加奈子さんがその人。居心地のよいカフェを訪ね、設立の動機や経緯、今後のビジョンなどについてお話を伺いました。

^{*1} 環境省公表数値：殺処分猫/全国:67,091匹、兵庫県:2,074匹(平成27年度)



こんなに夢中になるなんて
自分が一番驚いています

JR明石駅から歩いて5分ほどの距離にある譲渡型の保護猫カフェ「caro(カーロ)」。扉を開けると、そこには駅近という便利な場所にあることを忘れてしまふほど静かでゆったりとした時間が流れています。訪れる人を明るい笑顔で迎えてくれるのは、オーナーの中川加奈子さん。保護猫カフェをオープンするほどの情熱の持ち主ならば、幼いころから大の猫好きに違いないと思いきや、「返ってきたのはちよっと意外な答えでした。」

「猫と暮らし始めたのは、5年ほど前に結婚してからです。2匹の保護猫を譲り受けたことがきっかけでボランティアの方々と出会い、兵庫県が猫の殺処分ワーストランキングで毎年上位に位置している現状を知りました。それから少しずつ地域猫の保護活動にかかわるようになり、子猫に比べ里親の見つかりにくい大人猫(成猫)の問題を少しでも解決したいと考えるようになったのです。ボランティアの方々が多頭飼育に陥ってしまいがちな状況にも胸が痛みました」。無邪気でかわいい子

猫と違い、成猫は譲渡会に出しても緊張と警戒心からゲージに閉じこもったままという場合が多いのだとか。普段のリラックとした成猫を見てもらえる場所を作った譲渡に結びつきたい…、中川さんの挑戦はそんなシンプルな願いから始まったのです。「自分のことをクールな人間だと思っていたので、こんなに猫に夢中になるなんて私自身が一番びっくりしています(笑)」。笑顔でさりげなく語る中川さんですが、決断後の行動は周囲も驚くほどスピーディーで大胆なものでした。

日本全国から寄せられた支援が背中を押してくれました

中川さんが保護猫カフェを開こうと決めたのは、2016年初頭のこと。5月には現在の場所にオープンすることを決め、ほぼ同時期にクラウドファンディング^{*2}で支援を募り始めました。「保健所で殺処分を待つ猫たちを助け出し、新しい家族と出会える保護猫カフェを作りたい」と率直なことは趣旨を訴えたところ、予想をはるかに超える反響がありました。約3か月で187人の支援者から目標額を上回る172万円の寄付が寄せられたのです。

「全国の見ず知らずの方々に、これほど応援していただけたとは思ってもみなかったので驚きました。みなさんのご厚意に感謝の気持ちとともに責任を感じた瞬間でもありました。」

その後もオープンへの準備は急ピッチで進められました。殺風景だったビルの1室は、猫にも人にも快適な居心地のよいスペースへ。「自分でできることは自分です」。里親を希望して下さることほどうれしいことはありません。ただ終生、家族の一員として大切にしたいと、猫の健康を第一とし、まずは2週間のトライアルをお願いしています。そのうえで正式譲渡が決まったら、必ず「自宅に足を運んで飼育環境を確認させていただき、脱走防止のアドバイスなどもしています」。譲渡後に、「ありがとう」のメッセージとともに幸せに暮らす猫の写真が送られてくるのが何よりうれしく、と語る中川さん。キャットフードなど支援物資を送ってくれる人も現れ、猫を通じて生まれた人と人の絆が静かに広がっています。

「目標は、続けること」 甲南大学で培った発信力を磨いて

保護猫カフェ「caro」は、オフィシャルサイトのほかにインスタグラムやフェイスブックなどSNS(会員制交流サイト)を使った発信にも力を入れています。その際、甲南大学で学んだ人間表現領域の学びが役立っているのだとか。「大学時代の授業はどれも面白かったのですが、中でも岡本の風景を写真撮影し、みんなでディスプレイした授業が印象に残っています。人々の心を引きつける表現やビジュアルとは何か。実践的に学んだおかげでSNSの発信にも自信をもって取り組みます」。

中川さんにとって2016年は、カフェ設立を果たした記念の年になりました。夢を実現した今、次の目標はどこにあるのでしょうか。「地道に続けることですね。ある日、買い物していると「新聞で見ました。ありがとう。がんばってください!」と涙

終生、大切にしてほしいから 譲渡のプロセスは丁寧に

広々と清潔なカフェの中で猫たちは窓辺から外を眺めたり、お客さんと猫じゃらしで遊んだり、すやすやと眠ったり、好奇心旺盛に近づいてきたりと思いきい過ぎてしまいます。ストレスの少ない快適な環境のせいか、どの猫も驚くほど人懐っこくてチャームキング。中川さんが理想としていた「普段のリラックスした猫」の魅力に引かれ、里親を願う人々も増えてきました。

を浮かべて話しかけられました。私にできることはほんの少しですが、これからも猫の個性を発見する喜びを感じながら続けていきたいと思っています。いつの日か、白血病やエイズなどの猫のケアもしたいと語る中川さん。自然体で気負わない姿勢が、猫を取り巻く環境を少しずつ、しかし確実に変えようとしています。

^{*2} クラウドファンディング(CrowdFunding) 群衆(Crowd)と資金調達(Funding)を組み合わせた造語。さまざまな理由でお金を必要としている人や組織に対し、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募る仕組みのこと。



～キジ～

～ビビ～

～ラン～

～トム～

～リオ～

～おかめ～

兵庫県明石市の保護猫カフェ

caro

OPEN 13:00~20:30
CLOSE 月・木曜日

※誠に申し訳ございませんが9歳未満のお子様のご来店はお断りしております。

兵庫県明石市本町2-5-14 浜谷ビル 2F
TEL:090-2350-2828
HP: <http://nekocafe-caro.com>

SNSでも公開中/
@nekocafe.caro
@nekocafe_caro

ACCESS
明石駅南口より徒歩5分 近隣にコインPあり



ソフィア講演会 | Reportレポート1



川口 淳一郎氏
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 JAXA シニアフェロー

「はやぶさへの思いを ～これからの君たちへ」

映画になるほどの偉業で注目を集めた「はやぶさ」計画のプロジェクトマネージャーをはじめ、数々のプロジェクトに携わり、人類の科学衛星開発を牽引する川口氏に、宇宙工学を志すきっかけや、将来の深宇宙の探査計画などについてお話しいただきました。また、生徒に向けた「鉛筆を立てたような、高く細い尖塔を立てよ。やがてそれが太って大きな土台が育つ」ということばに象徴されるように、まず大いなる夢や目標をいだき、それを軸に基礎を固めていく重要性を教訓として述べておられました。

生徒の声

中学生の感想

- ・自分も世界一よりも、世界初をめざして、何かをがんばりたいと思います。(中2)
- ・川口先生のように立派で常に自分の行動を自分で正すことのできる人間になりたいと思いました。(中1)

高校生の感想

- ・することに対して先のリスクを考えるのではなく、できると思うことが大切ということに感銘を受けました。(高一)
- ・何でも挑戦して大失敗になったとしても、そこから大発見があり、社会を進歩させるものがあるので、僕もとにかく挑戦してそこから学ぶことに価値があるんだと思いました。(高一)



ソフィア講演会 | Reportレポート2

「これからの世界での人生の選び方
～高校生から紛争地で働く仕事につくまで」

平和活動によってNewsweek誌の「世界が尊敬する日本人25人」に選出された瀬谷氏。講演では、紛争地での兵士の武装解除やその後の職業訓練などの取り組みをふまえ、世界には紛争が多く、平和ではない国・地域がたくさんあることを語られました。そして、「人には人生を選ぶ権利があり、選択肢は人生を切り開くための要素ですが、その選択肢には使用期限がある。今しかできないことは今やるのがとても重要で、タイミングを逃してはならない」と、生徒たちにエールをくださいました。



瀬谷 ルミ子氏
特定非営利活動法人
日本紛争予防センター 理事長

生徒の声

中学生の感想

- ・長崎に修学旅行へ行き、平和について考えていましたが、紛争のことや紛争地での瀬谷さんの活動を知ることによって平和への思いがより強くなりました。(中3)
- ・今自分が普通に平和に暮らしていることが、どれほど幸せなことなのかと気づいた。一日一日を大切に生きていこうと思いました。(中1)

高校生の感想

- ・外から傍観するというよりも現場に行って、その人たちに今何が必要なのかを知る姿勢に感銘を受けました。(高一)
- ・今後は自分で判断して、自分の将来の可能性を大きく広げていけるようがんばりたいと思います。(高二)



22年ぶり兵庫県トップに
たった1本の悔しさをバネに奮起し、
インターハイ進出の栄冠を獲得！



弓道部



「甲南高中弓道部 心は1つ」



(弓道部顧問 村上仙瑞)
むらかみせんずい

スパアーン！会心の音色が響いた瞬間、湧き上がる歓声と盛大な拍手。そんな中、くしゃくしゃの笑顔に涙を浮かべていたのは、私が顧問を務める甲南高等学校弓道部の面々でした。彼らが兵庫県の頂点に立ち、インターハイ※本選出場という栄冠をつかむまでの道のり。それは決して平坦ではありませんでした。2015年11月の全国高等学校選抜大会県予選でのこと。古澤くんが伊藤くんのどちらかが1本中^あでると優勝という局面で両者が外してしまい、同点決勝の末、報徳学園高等学校に敗北。全国大会への出場権を奪われました。その1本の悔しさを晴らすため、部員主導で変わったのは練習の量と質。ほぼすべての日を返上し、強豪校や大学との練習試合も重ねました。各自が反省点をノートに書き留め、お互いの問題点を話し合うなど、技術だけでなく精神力にも、相当磨きがかかりました。

そしてインターハイへの切符がかかった、2016年6月の兵庫県高校総合体育大会。まず、団体予選を3位で突破し、いよいよ団体決勝リーグ戦です。激戦を勝ち上がり、最後は報徳学園高等学校との一騎打ち。勝った側が優勝という状況が選抜と同じなら、古澤くんが伊藤くんが中れば勝利というのと同じ。結果、古澤くんが中てて優勝を決め、伊藤くんも続いて有終の美を飾りました。22年ぶりに兵庫県1位の座を収めた今、私は次代の部員が全国優勝を果たす日も近いと確信しています。

※平成26年度全国高等学校総合体育大会

Congratulations!
偉業を達成した
部員たち

高校二年/
主将(現在)
井上 裕文さん
いのうえ ひろふみ

団体戦では必ず大前(最初の射手)ですが、プレッシャーは感じません。弓道部には中学時代からの仲間が多く、お互いに支え合っているからだと思います。

高校三年
藤山 暁彦さん
ふじやま あきひこ

選抜には出場していませんでしたが、だからこそ県総体に向けて勝つための努力を続けてきた自信があり、最高の結果につながったことを喜んでます。

高校一年
宮原 遼さん
みやはら りょう

一年生の私を県総体のメンバーに選んでくれた先輩に感謝し、期待に添えるよう練習を重ねました。当日は隣に先輩がいるだけで安心し、落ち着いて試合に臨みました。

高校三年
古澤 建さん
ふるさわ たける

選抜で実力を出しきれなかったことから、フォームの立て直しに力を入れました。誰よりも多く弓を引いた努力は、県総体で勝利を決める一矢を中てたことで報われました。

高校三年/
主将(当時)
伊藤 謙さん
いとう けん

選抜での敗戦後、8時間にもおよぶミーティングを経て、部員同士がお互いに本音をぶつけ合った結果、チームの団結力が高まり、勝利に結びついたんだと思います。

高校二年
寺澤 拓海さん
てらさわ たくみ

県総体の当日は出場する部員が試合に集中できるように裏方としてサポートしました。次の大会ではサポートされる側になって全力で挑みたいです。

高校一年
佐藤 暁さん
さとう たいける

5月の兵庫県民体育大会で優勝してから、調子を崩し県総体のメンバーからは外れましたが、心は一緒に戦っていたので、勝利の瞬間は本当にうれしかったです。



カード表には
甲南大学1号館を
デザイン

「甲南大学カード」入会募集中!

このたび甲南学園は、三井住友VISAカードと提携し、「甲南大学カード」を作成しました。このカードは、卒業生、教職員、元教職員、そのご家族のみならずにお持ちいただける、「甲南ファミリー」の証です。カードをご利用いただくと、カード会社に入る手数料の一部が甲南大学に還元され、甲南学園創立100周年事業など「母校」の支えとして活用されます。今後は従来のクレジットカード機能に加え、甲南大学カード独自の特典も増やしていく予定です。是非この機会にご入会いただきますようお願いいたします。

【お申し込み・お問い合わせ】甲南学園 学園振興募金室 078-435-2323 (直通)



握手を交わす甲南女子大学 森田勝昭学長(左)と
長坂学長(右)。

甲南女子大学との 地域創生にかかる連携協定を締結

甲南大学と甲南女子大学は、地域創生にかかる連携協力に関する協定を締結することとなり、10月17日、岡本キャンパスにて締結式を行いました。両大学は、平生三郎に縁のある「甲南四法人」として、また同じ神戸市東灘区にある大学として、これまでも各種活動とともに連携し実施していましたが、この度の締結によりさらなる連携の親密化を図っていきます。締結式には甲南大学 長坂悦敬学長、甲南女子大学 森田勝昭学長らが出席。地域社会との連携を通じた人材育成、地域における教育・文化の振興および発展などについて相互に協力することを定めた協定書に署名しました。

オール甲南の集い 2016 開催

11月19日、岡本キャンパスで年に1度のホームカミングデー「オール甲南の集い2016」を開催しました。作家の玉岡かおる氏による特別講演会のほか、クラブやサークルなどに所属していたOB・OGによる昼食会「ホームカミングランチ」、2015年9月にオープンしたグローバルゾーンで留学生との交流、甲南スイーツの販売などさまざまな催しが行われ、約500名の卒業生にお越しいただきました。



第52回摂津祭開催

11月18日から20日までの間、岡本キャンパスで第52回摂津祭を開催しました。今年はテーマを「笑顔満祭 52(ごっつ)多祭な必笑祭」と題し、模擬店や展示、ミスコンなどさまざまなイベントを開催。文化会やサークルに所属する学生らが日ごろの活動成果を披露し、卒業生や地域の方など多数の方が来場されました。



開 文 理 生 オ 理 ー タ 理 タ ム 理 ス ス 理 ク ル 理 ル を 理

平生オータムスクールは「KONANプレミア・プロジェクト」の一環として開催された初の試みで、学生たちが文理の枠を超えお互いの研究を発表し合うことで専攻以外の知にも触れられるイベントです。10月22日、会場の白川台キャンパスには、甲南大学の8学部と大学院から参加した学生・院生99名と教職員41名のほか、高校生、高校教員、地域住民の方々にも参加いただき、「講演」「ポスター発表」「実験体験講座」などを通じて知の交流を図りました。



「ホットスナック」&「ポッキー」の販売数で 全国ナンバーワンを獲得

2016年初夏から秋にかけ、全国のファミリーマートで行われたファミチキを含むホットスナック商品と「ポッキー」販売コンクールにおいて、岡本キャンパス内のファミリーマートが、販売数全国ナンバーワンに輝きました。日々勉強や課外活動に懸命に取り組む、腹ぺこにしている学生の胃袋を満たしてくれています。



甲南サイエンス 体感展示イベント・公開講座開催

2017年1月23日から2月19日まで、グランフロント大阪で「地域ブランド」や「少子高齢化」に関する公開講座のほか、理系教員や学生が取り組む研究を紹介する参加型のイベントを行いました。会場では、ラジオ体操の採点システムや土石流の仕組みを実際に見て・触れてもらうなど、大学の研究内容を身近に感じてもらいました。



「紅梅の盛りが待つてくれし」 稲畑汀子氏の句碑建立

9月14日、甲南高等学校・中学校生徒の父母らの俳句会「紅梅」の会が創立25周年と季刊誌「紅梅」が100号を迎える節目に、同会のご指導をいただいてきた稲畑汀子氏の句碑を同校内に建立しました。稲畑氏は俳人・高浜虚子の孫にあたり、「ホトトギス」主宰を経て現在名誉主宰、日本伝統俳句協会の会長も務めておられる、現代を代表する俳人で、学園では中学生の授業を通して俳句をご指導いただいていた。建立にあたって稲畑氏は「個性的な生徒たちに加え、父母のみならずとも俳句を語らう機会を得たのは望外の喜びだった。句碑ができたということは、緑が永久に続くことであり、本当にうれしく感動している」と述べられました。

グリークラブ 創部65周年記念演奏会開催

9月19日、岡本キャンパス甲友会館で「甲南大学グリークラブ創部65周年記念演奏会」が開催されました。現役員に加え、全国から集まったOB会「甲陵会」の面々、「学習院輔仁会音楽部」の有志など100余名が力強い歌声を響かせました。最後にクラブ創設者 岡本晟氏の指揮による『甲南学園歌』が歌いあげられ、演奏会は盛会のうちに幕を閉じました。



ユースホスティングクラブ 創部55周年記念式典開催

9月18日、岡本キャンパスで「甲南大学文化会ユースホスティングクラブ創部55周年記念式典」が開催され、225名が参加しました。式典では、祝電紹介のほか55年間のあゆみを写真でたどったスライドが上映され、参加したOB・OGは懐かしい日々を振り返りました。懇親会では、現役員との世代を超えた交流が行われ、変わらない伝統の強さを確認しました。



「百世不磨」のサインに お気づきですか?

広報部では、2019年の学園創立100周年に向けて、100年の時を経て色あせることなく、永久に光り輝く甲南学園でありつづける決意を「百世不磨(ひやくせいふま)」のこぼに託し、広報活動を展開しています。朝日新聞で同タイトルの広告を連載しているほか、近鉄大阪難波駅と阪神甲子園駅に大型看板を掲出しています。お近くにご用向きのある際は、ぜひご注目ください。

「百世不磨」とは…<http://ch.konan-u.ac.jp/news/231>



- 近鉄大阪難波駅:2016年5月1日から掲出(奈良方面行ホーム)
- 阪神甲子園駅:2016年3月1日から掲出(大阪方面行ホーム)

甲南健児の 意気をみよ

旧制甲南高等学校から続く誇るべき歩みを、次世代の甲南生につなぐ象徴となる「旧制甲南高等学校校生銅像」が2016年11月、甲南高等学校・中学校に建立されました。あいにくの雨にもかかわらずお集まりくださった旧制甲南高等学校卒業生をはじめとした関係者の方々に見守られ、姿を現した制服に学生帽、マントを羽織った2体の銅像。威風堂々と明日を指さすその姿は、まるで、まもなく100周年を迎える甲南学園の洋々たる未来を讃えているかのようでした。



高等科と尋常科をイメージした2人1組の基本構想を決めた後、現役生徒をモデルに検討を重ね、銅像のポーズ決定に至った。



学園創立100周年に向け 弾みをつける銅像の建立

銅像は、旧制甲南高等学校(1923〜1950年)の卒業生で組織される旧制甲南高等学校同窓会が、その歩みを次代につなぐ記念事業として計画し、甲南学園同窓会が学園に寄贈したもので、2016年11月27日、銅像が建立される甲南高等学校・中学校を会場に除幕式・祝賀会が催されました。

除幕式ではまず、甲南学園 吉沢英成理事長が「銅像は甲南精神のシンボルとして、日々この姿を見上げる生徒の心身の栄養・血肉になり、甲南教育実現への大きな励みになる」と語り、「この度の寄贈に感謝し、まもなく100周年を迎える学園の飛躍と、2世紀目に入る甲南教育の弾みにしていきたい」と誓い、挨拶しました。

続いて、旧制甲南高等学校同窓会 大島純義会長が「世界に通用する紳士たれのことを胸に、27年間で約1800名の優秀な人材を世に送り出した。旧制の伝統を銅像が継承し、学園の発展に寄与することを祈念し、声高らかに、甲南健児の意気をみよ、ともうしあげたい」と、除幕の辞を読みあげられました。幕が解かれ学生像が姿を現すと、大きな拍

手と笑顔に包まれ、校歌「沈黙の鐘」の斉唱で建立を祝いました。

次代への扉を開く 甲南同窓生の絆

除幕式後は、23名もの旧制卒業生にご参席いただき、祝賀会が盛大に行われました。甲南大学同窓会 立野純三会長より「銅像から甲南の歴史を学び、先輩方から脈々と継承されてきた甲南精神を感じ取ってほしい。銅像は現役学生と卒業生の絆のシンボルになる」と開会の辞をいただいたあと、銅像実行委員会 道満善弘委員長が、「旧制の先輩方より申し出をいただき、委員会を結成し約1年。平生夙三郎先生の祥月命日にこの日を迎えられてうれし」と建立に至る経緯を報告されました。

甲南高等学校・中学校の「クラシック同好会」による記念演奏が祝賀ムードを盛り上げるなか旧交を温める時間が流れ、最後に甲南大学長坂悦敬学長が「さまざまな時代を乗り越えてこられた旧制卒業生のみなさまのがんばりが、今の甲南学園の励みになっている。100周年の扉を開きたい」と祝辞を述べ、盛況のうちに祝賀会が終了しました。

(銅像に刻まれた碑文)

甲南健児の意気をみよ

大正十二年甲南高等学校はその輝かしい歴史をスタートさせた。大正期の自由な気風とロマン：そして戦争。甲南高等学校の歴史は日本の激動の時代に翻弄され続けた歴史でもある。その道のりは必ずしも平坦ではなかった。しかしどのような苦境にたたされても甲南健児は母校の誇りを失ったことはない。「世界に通用する紳士たれ」この偉大な学園創設者の言葉をひとりひとりが胸に刻みこんでいたからである。昭和二十五年戦後教育制度の改革により旧制甲南高等学校はその歴史に幕をおろした。しかしその誇り高き魂は新設された甲南高等学校・中学校へ引き継がれ甲南健児の胸で今もお生き続けているのである。

平成二十八年十一月二十七日

甲南学園同窓会



高浜虚子と長谷川素逝

「添削綴」でつながる師弟愛

旧制甲南高等学校の教壇に立った 俳人、長谷川素逝

くさか とくいち
日下 徳一氏

元甲南高等学校・中学校教諭

昭和2(1927)年生まれ。関西学院大学文学部(英文学科)卒業。平成4(1992)年まで甲南高等学校・中学校で英語教諭を務める。「ホトトギス」同人。旧制甲南高等学校の教授だった長谷川素逝に興味をもち、研究をすすめる。著書に『子規もうひとつの顔』(朝日新聞社2007年)、『子規断章 漱石と虚子』(朝日新聞出版2012年)など。



昭和15(1940)年から数年間、旧制甲南高等学校の教授として教壇に立った長谷川素逝こと長谷川直次郎という俳人がいます。明治40(1907)年生まれの素逝は学生時代から句作を始め、召集後も句を作り続けました。その名を一躍有名にしたのが『砲車』であり、句集としては珍しい5版を重ねる人気作となりました。昭和21(1946)年に病のため、39歳の若さで亡くなりましたが、「ホトトギス」元主宰で、正岡子規の高弟、高浜虚子から俳句の添削を受けていたことを示す「添削綴」などの遺稿が発見されました。

「高浜虚子と長谷川素逝」この2人にまつわる逸話を甲南学園に届けていただいたのは、素逝を研究している元甲南高等学校・中学校教諭の日下徳一先生です。

「素逝の気持ちがよくわかる」
日下先生を経て甲南へ
日下先生は、虚子の孫にあたる「ホトトギス」元主宰の稲畑汀子氏が指導にあたった、甲南高等学校・中学校の生徒の父母らがつくった俳句会「紅梅」の会の創設・運営にも携わっています。現在も素逝を研究する各地のグループや素逝の一人娘の林洋子氏とも交流を深めておられます。

三階にして教卓に風は夏
清々しい教室の空気を伝える句は、素逝が甲南で詠んだものだと言われています。

「私は直接素逝とかかわりはありませんが、甲南で教えるようになってから興味をもち始めました。戦争中に育っている私には、素逝の気持ちがよくわかります」と日下先生はおっしゃいます。この句も好きな句の一つだそうです。「戦野をうたった『砲車』に収められている句も決して好戦的ではなく、戦地の農民や奥さんへの思いを詠んだ優しい句も多いです」。

「砲車」の元旧制教授 素逝の遺稿発見さる

その上、前年春には住吉村花田の教員住宅に入居もでき、津から妻ふみ子呼び寄せることができた。このころのことを旧制甲南高等学校の石井義仁教授が「長谷川先生は素逝と云う俳号でその道では偉い人だと聞いていました。極めて物静かな方でした。体がお弱いため畑仕事が出来ず、私達が作った豌豆など、少しお分けしても大変喜んで下さったものでした。」(思い出す事ども)石井先生の遺稿集と書いています。

若い世代にはなじみがないかも知れないが、昭和12(1937)年7月に勃発した日中戦争の初期、戦場で生まれた文学作品で有名になったのは火野葦平の『麦と兵隊』(改造社1938年)と長谷川素逝の句集『砲車』(三省堂1939年)だった。

この住吉の教員住宅が昭和20(1945)年8月5日深夜から6日の早朝にかけての空襲ですべて焼けてしまったのである。それは広島に原爆が落とされる数時間前だった。

この素逝、長谷川直次郎が旧制甲南高等学校教授に迎えられたのも「砲車」との縁であった。当時、甲南では平生鈇三郎のもと、理事会の若手メンバーのなかにも伊藤忠兵衛や関圭草など、のちに句集を出すほどの俳句愛好家があった。伊藤忠兵衛は原石鼎の「鹿火屋」同人、関圭草は「ホトトギス」同人で当時すでに2度も巻頭をとっており、野村泊月とも親しくその縁で素逝も知っていた。

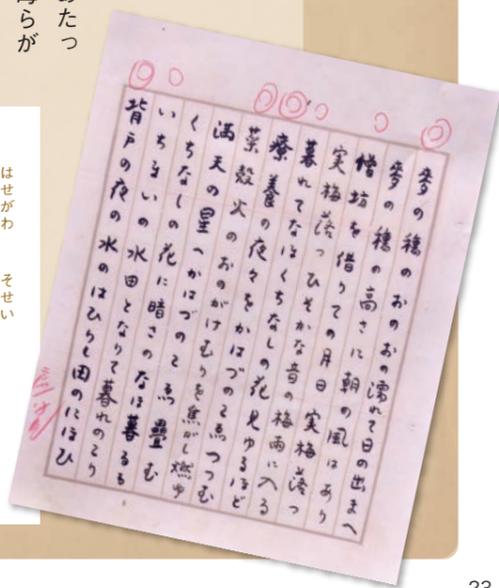
すでに素逝は同年7月28日の空襲で津の実家を失っており、素逝の津と住吉に置いていたすべての蔵書が灰燼に帰した。こういうことを危惧して、住宅では端の方に講義関係だけのやや大きな共同の防空壕を掘り、講義に必要な書籍やノートをしらべておいた。そこへ素逝は自分の書籍のほか、高浜虚子に添削してもらった877句と出版社に渡すばかりの「前線俳句鑑賞(ソノ三)」を加えた。どちらもあり合わせのボール紙で表紙をつけて綴じた、みすばらしい冊子だったが、そのまま無事に出てきた。

伊藤忠兵衛は句集『声の芽』の中でも、「関圭草とは仕事の関係もあり、甲南学園の世話をやっておる関係上、ある日、句集『砲車』の作者長谷川素逝氏が京大出の文学者であることも知り、兩人で平生鈇三郎理事長に話をして、甲南の教授として迎えることになった。」(私の句作方)と素逝採用の経緯を述べている。こうして素逝は休職中だった前任校、三重県立津中学校から昭和15(1940)年10月、旧制甲南高等学校に赴任したのである。素逝もそのころは従軍中に患った胸部疾患も、講義に差し支えない程度に回復していたようだ。そして翌年の新学期には、

この素逝は、素逝の津と住吉に置いていたすべての蔵書が灰燼に帰した。こういうことを危惧して、住宅では端の方に講義関係だけのやや大きな共同の防空壕を掘り、講義に必要な書籍やノートをしらべておいた。そこへ素逝は自分の書籍のほか、高浜虚子に添削してもらった877句と出版社に渡すばかりの「前線俳句鑑賞(ソノ三)」を加えた。どちらもあり合わせのボール紙で表紙をつけて綴じた、みすばらしい冊子だったが、そのまま無事に出てきた。

生徒らと五月の朝の窓開けて
蝉ないてゐて教場のこえきこえ
と詠んで甲南での新しい教員生活を大いに期

とそれは家の者が蔵の奥に置いたまま、誰の目にも触れることはなかった。というのも1年後には素逝が、その3年後にはふみ子も没し、幼ない洋子が残されただけだから無理もない。



はせがわ そせい
長谷川 素逝(直次郎)

明治40(1907)年大阪生まれ。京都帝国大学文学部卒業後、日中戦争に召集されたが、病を得て帰還。療養後昭和15(1940)年に旧制甲南高等学校の教授に着任した。昭和18(1943)年に病を再発した後は肺結核と闘いながら句作を続けた。「ホトトギス」にも投句し、高浜虚子の知遇も得る。砲兵将校として従軍し、その戦争吟は度度も「ホトトギス」の巻頭を占めた。



研究室での素逝(娘の林洋子氏提供)

◎ 50年ぶりの奇跡

それから50年余りたつて実家の者がそれに気づいた。開けてみると素逝の書き物だったので、同じ市内に嫁いでいる洋子に返したが、洋子もどうしていいかわからず、三重県庁に調べてもらおうと、それらは素逝手書きの877句の「添削綴」と、「前線俳句鑑賞(ソノ三)」であることがわかった。

このことを津中学校の素逝の後輩で俳人の石田ひでおが知り、その後の縁で私も拝見する機会に恵まれた。石田は三重の教育界で活躍していた教員だったが、すでに素逝に関する著書もあり熱心な素逝研究者だった。

◎ 素逝からの贈りもの

「前線俳句鑑賞」は虚子が昭和14(1939)年に刊行した『支那事变句集』(三省堂1939年)から思いついたものだが、虚子に頼まれたものではなく出版社の依頼だった。しかし、すでに送稿しておいた「ソノ一」「ソノ二」は出版社が空襲で焼けたのかいまはどこにもない。「ソノ三」も出版社に送るつもりだったが、共同の防空壕に入れておいて助かったのである。

これは「ホトトギス」に入選した前戦の兵士たちの88句を素逝が選び、丁寧に感想を記したものだ。もちろん戦場の緊張感にあふれたものもあるが、戦争を礼賛するような句はほとんどない。おそらくこれは当時「ホトトギス」がひそかに聖戦主義とは一線を画していたせいであろう。たとえば、

入学の吾子あり野戦為替組む
架橋する裸の兄と会ひにけり
戦火去りいづこも田植いそしめる

満州 小田黒潮
南方 前田朝之進
比島 緒木水仙

などは素逝の好む世界で、死を前にした戦場の句とは思えない。これらに素逝は800字程度の感想を書き、生きて還れるかどうかからない兵隊のために、丁寧に指導するのである。

また素逝は、昭和14(1939)年に「砲車」を刊行し世間で話題になっているのに、翌年1月から虚子の添削を受けることを思い立つ。「ホトトギス」では巻頭句の常連だった素逝も、まだまだ勉強が足りぬと思ったのであろう。

それから5年、戦争が激しくなつて添削どころではなくなる昭和20(1945)年1月まで実に60回、877句が虚子の添削を受けたが、虚子は素逝といつても特別に扱う訳ではない。他の門弟に対するのと同じように赤鉛筆で◎や○をつけ、時には短い批評を添えるだけだ。

素逝の代表句のように言われている

◎ なが性の炭うつくしくならべつぐ

◎ しづかなるいちにちなりし障子かな

◎ 圓光を著て鴛鴦の目をつむり

にしても◎印だが特別に褒めるわけでもなく淡々としたものだ。添削を受けている間にも素逝は『三十三才』(三省堂1940年)、『幾山河』(河出書房1940年)、『ふるさと』(七文書院1942年)と3冊もの句集を出しているのに、虚子の扱いは何ら変わることはなかった。その虚子の添削の文字や符号が、いま書き終えたばかりのように思えるほど、みずみずしく鮮明に残っているのである。

いうまでもなく、これら2冊の資料は素逝や俳句研究には欠かせない貴重なものだ。素逝は病身でたびたび甲南を離れることが多かったが、死の寸前まで旧制甲南高等学校の教授だった。いろいろな巡り合わせを経て、こうしてご縁を頂戴したことも「甲南に届けるように」という素逝のひそかな願いによるものだったのかも知れない。

(文中敬称略)

平生鈞三郎と

訪伯経済使節団

人生の転機となった ブラジル旅行

日本人移民が笠戸丸でコービーの国ブラジルに渡ったのは明治41(1908)年のことだが、大正13(1924)年7月のアメリカ排日移民法以降、日本にとってブラジルは中心的移民国に位置づけられる。東京海上火災専務平生鈞三郎は同年9月から翌年4月まで世界巡遊に出かける。その際、周囲を驚かせたのは、旅程の1か月近くをそのブラジルに充てていたことである。「洗面所などもその汚らしさ加減は到底洗面うがいをするの勇氣なし」と彼自身に言わせるほどの貧国に、世界的大企業の専務が訪問するというのだから無理もない。

平生は12月4日にリオデジャネイロに着くや、精力的に日本人植民地を見て回り、多くの問題点に気づく。人口過剰の故に移民を送り出しながら、まともな調査・研究をしていない政府。また移民斡旋会社の杜撰さなど。しかしこの国は広大な土地と豊富な資源に恵まれ、土地狭小で資源に乏しい日本にとっては極めて魅力的に見えた。「余生と余財は社会国家奉仕」のためと考えていた平生は、この旅行を機に実業界の第一線から退く。

海外移住組合連合会会頭

大正15(1926)年4月、平生は神戸での日伯協会設立委員会(5月8日創

立)で、「移民としての教養」の場としての「一大移民収容所」を提案し、賛同を得る。7月24日、平生は神戸市長らとともに濱口雄幸内相に会見し、収容所建設を陳情する。彼からは、移民奨励は「政府の国策」だが、予算が苦しい状態なので「仮収容所」から始められないか、との好意的回答を得る。これが「国立移民収容所」として実現するのは昭和3(1928)年2月である。

ブラジル移民で彼の念頭にあったのは「出稼ぎ型」ではなく「定住型」であった。とすれば「資本」は欠かせない。彼は雑誌『ブラジル』に「資本家の奮起を促す」という一文を載せる。今ブラジルでは労働不足で移民に追風が吹いているが、労働過剰に転じると「土着労働者又は白人労働者が団結して日本移民を排斥するかもしれないので、予防策として日本の資本家がブラジルにおける土地を購入することが急務」である。「労資相伴って入国すれば現地の労働者と競争する必要もなく、日本人所有の未開墾地を開拓するのだから、ブラジル国民も満足するだろうと。

昭和2(1927)年、移民の政府統括組織として海外移住組合連合会が設立されるが、3年後には土地購入を急いだために財政的に行き詰まる。そこで政府は経営立て直しのため、平生に白羽の矢を立てた。同年12月に松田源治拓務大臣と小村欣一事務次官(小村寿太郎の長

ば、結果として移民の難問も解決の糸口が見えてくるだろうと挨拶した。

国資扱いの民間経済使節団

平生はあくまで民間使節としてこの訪伯を位置づけていたが、ブラジル政府は彼らを「国資」扱いで考えていた。これを知った平生は、「将来ブラジルから同じ様な経済視察団が日本に来た時に、同一の待遇をすることが出来るか。若しそれが出来ぬ場合、ブラジル人はブラジルを侮辱したと感じ、日伯親善上障碍を招きはしないか」と駐伯大使に伝えると、大使は本国にその旨を伝え、了承を得たとの返事があり、5月16日、一行は国資として大歓迎のなかりオデジャネイロに入港した。

ブラジル滞在中彼らは精力的に行動し、殊にブラジル綿の有望性を再確認したほか、日伯通商協会の設立も合意された。この使節団がいかに成功だったかは、最後の日伯会談で外相が平生団長に

男)が平生を訪問し、連合会会頭への就任を懇請する。平生は、1. 会頭兼理事長として人事一切の権限を有し、2. 経験豊富な宮坂国人(拾芳会会員)を専務理事として実務の総責任者とし、3. 新体制以前の赤字は責任を負わないこと等を条件に受け入れた。

翌年から平生・宮坂新体制が動き始めたが、軍部の横暴で予算も思うにまかせぬなか、ブラジルでも排日運動が強まり、ついに昭和9(1934)年5月24日に「移民二分制限法」(50年間の移民総数の2%に制限)が議会を通過する。その理由は、有色人種への偏見、日本人の経済力への脅威、ブラジル綿糸布市場をめぐる英米の策動、議会で排日グループの存在が考えられた。

民間経済使節派遣団の結成

この「二分制限法」に慌てた政府と民間メンダトル勲章を授与したことからわかる。だがそれにしても政府および実業家の歓迎ぶりと移民排斥はどうもしっくりこない。これについて平生は、議会で優生学上日本人は劣等であるとの妄説を信じる医師勢力と国家主義者が結束したからであろうと推測した。

平生経済使節団の成果はさっそく現れた。帰国途上の昭和10(1935)年10月23日、サンパウロ総領事から広田弘毅外相への報告に、ブラジル政府は「移民二分制限条項の解釈並びに適用を緩和することに方針を決定」というニュースが船上にもたらされた。

神戸港に接岸したのが10月28日。その1か月後の12月3日、岡田総理から勅撰貴族院議員奏請の連絡があり、4日に辞令を受ける。そして5日には天皇陛下にブラジルについて約50分にわたってご進講を申しあげた。平生にとって「身に余る光栄」のひとつであった。



カタナ宮殿でヴァルガス大統領に謁見する使節団一行(前列右から2人目が平生、その隣が大統領)

と決まった。4月1日の岡田啓介総理主催の歓送会で平生は、移民制限問題で善後策では随分苦慮したが、まず不振の日伯間貿易の活性化が先決で、このため外務・拓務両省および日本商工会議所の肝煎りでこの民間経済使節団が組織された。今ブラジルが日本向けの産物を新たに興すとすれば、それは綿作であり、これを大々的に奨励す



訪伯の途次ホノルルで三女 富美一家と会い、レイをかけ日の丸の軍扇で別れを惜しむ平生夫妻

『平生鈞三郎日記』 第一巻～第十四巻を 刊行中です。

『平生鈞三郎日記』第一巻～第十四巻を刊行しました。6月には、第十五巻を刊行予定です。定価は各巻20,000円(税抜)ですが、甲南学園関係者の方(卒業生、在学生、ご父母、教職員等)は10,000円(税抜)でご購入いただけます。



ご注文・ご購入に関するお問い合わせ
甲南大学 生協書籍部 | Tel.078-441-7901
Fax.078-441-7915



理工学部・知能情報学部事務室
小野 諒佑 専任職員
平成29年2月15日付

学生時代を合わせると、約8年お世話になりました。「転職初日には瘦せていたい」という思いとはうらはらに、温かい先輩方のおかげで、最後に5キロ太りました。ろくにお返しをできないまま退職するのは心残りですが、今後も甲南学園の益々の発展をお祈りしています。

平成28年度
退任職員紹介
[平成29年2月15日現在]
長い間ありがとうございました



学長室
瀬戸 香緒里 専任職員
平成28年12月31日付

このほか、
【職員】
武田 京子 嘱託職員
(理工学部・知能情報学部事務室)
谷向 真奈美 嘱託職員
(財務部)
江川 宏美 嘱託職員
(教務部)
相楽 紘子 嘱託職員
(経済・法・経営学部合同事務室)
も退職いたしました。

約2年8か月甲南学園の職員として働かせていただきました。さまざまな経験を通して、心温かい甲南人のみなさまに支えられ、貴重な日々を過ごすことができました。本当にありがとうございました。今後も甲南学園のさらなる発展を祈念いたします。



国際交流センター事務室
中森 天河 専任職員
平成28年12月1日付

[資格・特技] 英会話



図書館・サイバーライブラリ事務室
江藤 香 嘱託職員
平成28年9月1日付

[資格・特技] 司書・絵を描くこと



理工学部・知能情報学部事務室
斎藤 直美 嘱託職員
平成28年12月1日付

[資格・特技] 太極拳



総務部総務課
近藤 理恵 嘱託職員
平成28年10月1日付

[資格・特技] スポーツ観戦



総務部人事課
渡邊 エミ 嘱託職員
平成29年1月1日付

[資格・特技] イメージトレーニングコーチ



学長室
妹尾 拓真 専任職員
平成28年12月1日付

[資格・特技] ラクロス



国際言語文化センター
野村 幸宏 講師
平成28年9月1日付

[専門分野] ドイツ語教授法

平成28年度
新任教職員紹介
よろしくお願ひいたします！
[平成29年1月1日現在]

岡本ぶらり 第1回

私がさまざまな岡本を紹介します

ナビゲーター/もっとさん
「岡本」の街をもっともっと知りたい！
好奇心旺盛な女の子。



{ 岡本にある“ひつじ”のナゾ?! }

岡本のいろいろな情報をご紹介する「岡本ぶらり」。記念すべき1回目は、“ひつじ”のナゾです。気にかかっている方もいらっしゃるでしょう。岡本には、“ひつじ”を名乗るお店がいくつかあります。その昔、岡本にはひつじが放牧されていたとか…!?。さっそく、ナゾを解くため2つの“ひつじ”のお店に伺いました。



羊飼いが世話をすることで“ひつじ”が育つように、お店が紹介する良書と出合うことで、子どもが健やかに育ってほしいという、深い思いが込められています。

ひつじ書房

児童図書専門店として昭和50(1975)年から、お店を構えるひつじ書房さん。店主のこだわりで世界中の良書がそろっています。子どもに親しまれる動物の名前を付けようといういろいろと考え、“ひつじ”になったそうです。

Access

兵庫県神戸市
東灘区岡本1-2-3
TEL/078-441-6869



こだわりの1冊を求めて、
遠方からお客さまが。



ご確認ください!

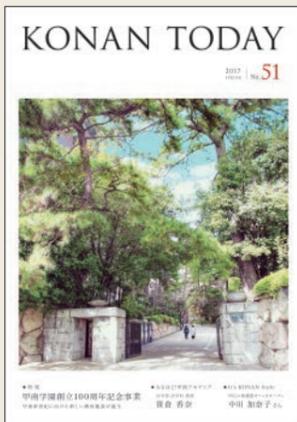
「KONAN TODAY」の送付に関するお知らせ

学園広報誌「KONAN TODAY(年2回、9月・3月発行)」は学校法人甲南学園(甲南大学、甲南高等学校・中学校)の卒業生と在学学生・在校生の保護者に送付しております。住所変更、送付停止、その他ご意見等がございましたら、同封しているハガキにてお知らせください。

一家に複数冊届いている場合は、
連名でお送りすることも可能です。



甲窓 KOUSOU



KONAN TODAY

同窓会誌「甲窓(年1回発行)」は甲南学園同窓会から送付しております。「甲窓」に関する質問等は、同窓会事務局(TEL.078-842-0357)にお問い合わせください。

ひつじ茶房

まるでお家のように和むカフェ“ひつじ茶房”さん。お店の本棚には絵本の数々、幼いころ手にした1冊と出合うことも。絵本がたくさん…もしかして?やはり、お知り合いでもあるひつじ書房さんから、“ひつじ”をいただき名付けたそうです。

2つのお店はつながりが
あったんですね!



Access

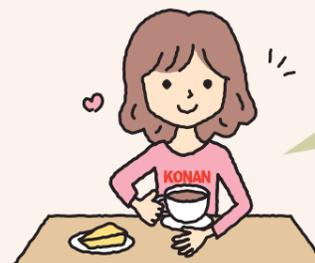
兵庫県神戸市
東灘区本山北町3-13-26
清風園2F
TEL/078-862-9734



マンションの2階にひっそりとあるお店は隠れ家のようにのんびりします。フレイバーティーと手作りのスイーツをお試しください。



名前の由来がわかりスッキリ。なんと、2つの“ひつじ”は関連があったのです。地域のつながりがしっかりしている岡本ならではのエピソードですね。次号からも岡本を「もっともっと」知るために、ぶらりしちゃいます。



課外活動成果報告

みなさんの活躍に心より拍手を送ります。掲載期間 2016年7月5日～12月

大学

【空手道部】

全関西大学空手道選手権大会(10月) 2部3位(1部昇格) 全日本大学空手道選手権大会(11月) 男子団体 女子団体出場

【弓道部】

全日本学生弓道選手権大会(8月) 女子団体3位・濱中花純(法2)・河田麻衣(當3)・池田さとみ(文3) 東西学生弓道選抜対抗試合(11月) 濱中花純(法2)出場

【剣道部】

全日本学生剣道選手権大会(7月) 石上純平(法3)出場 全日本女子学生剣道選手権大会(7月) 小日山瑞希(法4)出場 全日本女子学生剣道選手権大会(11月) 女子団体出場

【硬式庭球部】

関西学生チャレンジテニス トーナメント(7月) 女子シングルスベスト4・橋本和(法3) 関西学生地域テニストーナメント(11月) 男子ダブルスベスト4・森匠(當3)・三村公亮(當2)・藤永大真(清1)・岩村優(清1)組

【ゴルフ部】

日本学生ゴルフ選手権競技(8月) 荒川祐樹(當3)出場

【自動車部】

全日本学生ダートトライアル選手権大会(8月) 団体4位 全日本学生ジムカーナ選手権大会(8月) 男子団体出場 関西学生ダートトライアル選手権大会(10月) 3位・中平永吉(法3)

【少林寺拳法部】

全日本学生大会運用法の部出場(9月) 男子軽量級の部・松本大輝(法4) 全日本学生少林寺拳法大会(11月) 男子立会評価法重量級の部優勝・竹中将希(清3) 女子立会評価法重量級の部優勝・長谷川尚美(文3) 男子立会評価法中量級の部5位・松本大輝(法4)

【漕艇部】

全日本大学選手権大会(9月) 男子ダブルス出場 関西学生賞典障害馬術大会(7月) 団体総合2位 ※44年ぶり 大西央海(清4)・ユエフオ、高嶋洋子(清4)・ゴルドカ、西端将展(マネ3) & 甲輝 安田公翼(當2) & フロースンダイヤモン、西端将展(マネ3) & 甲太郎 学生賞典障害飛越競技優勝・安田公翼(當2) & フロースンダイヤモン

【馬術部】

関西学生賞典障害馬術大会(7月) 団体総合2位 ※44年ぶり 大西央海(清4)・ユエフオ、高嶋洋子(清4)・ゴルドカ、西端将展(マネ3) & 甲輝 安田公翼(當2) & フロースンダイヤモン、西端将展(マネ3) & 甲太郎 学生賞典障害飛越競技優勝・安田公翼(當2) & フロースンダイヤモン

【バレーボール部】

第42回西日本バレーボール大学男子選手権大会(7月) ベスト8 全日本学生個人選手権大会(10月) 男子サークル出場・土高橋平(法3)

【フェンシング部】

世阿弥を学び、世阿弥に学ぶ 12人の専門家が「世阿弥」を語る一講演・対談集 田中 貴子 [文学部教授] 共著 大阪大学出版会 ¥2,300(税別)

【最新 中小企業会計論】

河崎 照行 [共通教育センター教授] 著 中央経済社 ¥3,000(税別)

【臨床場面での自己開示と倫理】

富樫 公一 [文学部教授] 共著 岩崎学術出版社 ¥3,200(税別)

【公認心理師】

子安 増生 [文学部特任教授] 共著 金剛出版 ¥1,800(税別)

【平成財政史】

永廣 顕 [経済学部教授] ほか著 財務省財務総合政策研究所財政史室 ¥8,611(税別)

【平成財政史】

永廣 顕 [経済学部教授] ほか著 財務省財務総合政策研究所財政史室 ¥7,407(税別)

【公認心理師】

子安 増生 [文学部特任教授] 共著 金剛出版 ¥1,800(税別)

【平成財政史】

永廣 顕 [経済学部教授] ほか著 財務省財務総合政策研究所財政史室 ¥7,407(税別)

【公認心理師】

子安 増生 [文学部特任教授] 共著 金剛出版 ¥1,800(税別)

【平成財政史】

永廣 顕 [経済学部教授] ほか著 財務省財務総合政策研究所財政史室 ¥7,407(税別)

【公認心理師】

子安 増生 [文学部特任教授] 共著 金剛出版 ¥1,800(税別)

【ヨット部】

関西学生ヨット個人選手権大会(7月) 470級3位・藤井純也(清2)・秋月将太郎(清4)組 全日本学生ヨット個人選手権大会(9月) 470級・村松叶子(文1)・中村美貴(清2)組 羽室有彩(清2)・畑希里華(マネ2)・浦新みなみ(法2)組

【ライフル射撃部】

西日本学生ライフル射撃選手権大会(7月) 50m 3×40M 6位・町田健太郎(法3) 50m P 60M 4位・町田健太郎(法3) 10m S 60M 6位・町田健太郎(法3) 10m S 60M 8位・岡田康一(法3)

【陸上競技部】

オールスターナイト陸上 秩父宮賜杯 実業団・学生対抗陸上競技大会(7月) 男子400m 4位・三原泰起(法3) 女子100m 5位・西尾香穂(當1)

【陸上競技部】

秩父宮賜杯 西日本学生陸上競技対校選手権大会(7月) 男子400m 6位・三原泰起(法3) 女子100m 3位・西尾香穂(當1) 女子100m 5位・西尾香穂(當1) 女子走高跳5位・辻愛(文3) 女子200m 1位・永野真莉子(當4) 女子200m 3位・木村瑞穂(清2) 近畿陸上競技対校選手権大会(8月) 女子200m 2位・木村瑞穂(清2) 関西学生新人陸上競技選手権大会(9月) 女子100m 1位・西尾香穂(當1) 女子100m 2位・木村瑞穂(清2) 女子200m 1位・木村瑞穂(清2) 女子200m 2位・藤井彩和子(當2) 女子走高跳2位・清水爽香(文1) 女子4×100mリレー1位・川崎咲良(文1)・林薫乃(當1)・藤井彩和子(當2)・木村瑞穂(清2) 女子4×400mリレー2位・西山沙優(當3)・藤井彩和子(當2)・松ヶ谷茜里(當3)・高月香奈(當2)

【陸上競技部】

秩父宮賜杯 西日本学生陸上競技対校選手権大会(7月) 男子400m 6位・三原泰起(法3) 女子100m 3位・西尾香穂(當1) 女子100m 5位・西尾香穂(當1) 女子走高跳5位・辻愛(文3) 女子200m 1位・永野真莉子(當4) 女子200m 3位・木村瑞穂(清2) 近畿陸上競技対校選手権大会(8月) 女子200m 2位・木村瑞穂(清2) 関西学生新人陸上競技選手権大会(9月) 女子100m 1位・西尾香穂(當1) 女子100m 2位・木村瑞穂(清2) 女子200m 1位・木村瑞穂(清2) 女子200m 2位・藤井彩和子(當2) 女子走高跳2位・清水爽香(文1) 女子4×100mリレー1位・川崎咲良(文1)・林薫乃(當1)・藤井彩和子(當2)・木村瑞穂(清2) 女子4×400mリレー2位・西山沙優(當3)・藤井彩和子(當2)・松ヶ谷茜里(當3)・高月香奈(當2)

【陸上競技部】

秩父宮賜杯 西日本学生陸上競技対校選手権大会(7月) 男子400m 6位・三原泰起(法3) 女子100m 3位・西尾香穂(當1) 女子100m 5位・西尾香穂(當1) 女子走高跳5位・辻愛(文3) 女子200m 1位・永野真莉子(當4) 女子200m 3位・木村瑞穂(清2) 近畿陸上競技対校選手権大会(8月) 女子200m 2位・木村瑞穂(清2) 関西学生新人陸上競技選手権大会(9月) 女子100m 1位・西尾香穂(當1) 女子100m 2位・木村瑞穂(清2) 女子200m 1位・木村瑞穂(清2) 女子200m 2位・藤井彩和子(當2) 女子走高跳2位・清水爽香(文1) 女子4×100mリレー1位・川崎咲良(文1)・林薫乃(當1)・藤井彩和子(當2)・木村瑞穂(清2) 女子4×400mリレー2位・西山沙優(當3)・藤井彩和子(當2)・松ヶ谷茜里(當3)・高月香奈(當2)

【陸上競技部】

秩父宮賜杯 西日本学生陸上競技対校選手権大会(7月) 男子400m 6位・三原泰起(法3) 女子100m 3位・西尾香穂(當1) 女子100m 5位・西尾香穂(當1) 女子走高跳5位・辻愛(文3) 女子200m 1位・永野真莉子(當4) 女子200m 3位・木村瑞穂(清2) 近畿陸上競技対校選手権大会(8月) 女子200m 2位・木村瑞穂(清2) 関西学生新人陸上競技選手権大会(9月) 女子100m 1位・西尾香穂(當1) 女子100m 2位・木村瑞穂(清2) 女子200m 1位・木村瑞穂(清2) 女子200m 2位・藤井彩和子(當2) 女子走高跳2位・清水爽香(文1) 女子4×100mリレー1位・川崎咲良(文1)・林薫乃(當1)・藤井彩和子(當2)・木村瑞穂(清2) 女子4×400mリレー2位・西山沙優(當3)・藤井彩和子(當2)・松ヶ谷茜里(當3)・高月香奈(當2)

【陸上競技部】

新刊一覧 甲南学園の教員・教諭と卒業生が執筆した 書籍紹介欄

編集後記 今号よりタイトルロゴと表紙を変更しました。長きにわたり、表紙を飾っていた...

甲南高等学校 同窓会 2017年 6月3日(土) 神戸ポートピアホテル

KONAN TODAY 51 2017 Spring NO. PRESENT オリジナルエコバッグ 抽選で30名様に!